

経済学部

FACULTY OF ECONOMICS



- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 現代社会学部
- 国際関係学部
- 外国語学部
- 文化学部
- 理学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- アントレプレナーシップ学環

経済学部事務室

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
TEL.075-705-1452
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



公式LINE
@k.s.u



公式Instagram
@kyotosangyo_university



公式YouTube
@KyotoSangyoUniversity



京都産業大学
Webサイト

※本誌に登場する人物のプロフィールや教育内容、施設などの情報は取材時のものであり変更になる場合があります。

2026年3月発行

ABOUT

Faculty of Economics

愛する人も、
経済学で救える

"Cool head but warm heart."
(「冷静な頭脳と温かい心」)

経済学は、ミクロとマクロの視点から、経済現象の法則性を科学的に解明し、社会課題の解決を通じて豊かな未来を目指す学問です。

イギリスの経済学者アルフレッド・マーシャル(1842-1924)は"Cool head but warm heart." (「冷静な頭脳と温かい心」)という言葉を残しました。この言葉には社会課題の解決に向き合うことこそ経済学の使命であるという強い意志が表されており、現代的に解釈すれば、冷静な頭脳により理論やデータなどを用いて経済現象などを科学的に分析する必要性だけではなく、社会への温かい心で、人々に寄り添った課題解決策を考える必要性もあることを示しています。経済学を学び、研究する者はこのような意識で社会的責任を果たしていくことも必要だという意味合いを含みます。

現在は、グローバル社会の中で、機会の不平等の拡大、環境破壊、貿易摩擦など、国内外にさまざまな社会課題があります。それらに向き合うために、経済学部では歴史に学び、理論を究め、科学的なデータ分析を駆使して解決策を見いだします。特に、実務家を招いての講義や現地でのフィールドワークを通して実践力を身に付け、また英語力も高めるプログラムを通じてグローバルな視点を養うことで、未来に向けた社会課題の解決に取り組みます。

学部紹介
アニメーション



経済学部

経済学科

初めて経済学を学ぶにあたり、1年次では「基礎導入教育科目」で経済学の初歩を少人数教育で徹底的に学ぶとともに、大学生としてのアカデミックスキルを磨きます。2年次以降は、「4つの専門コース」に基づき、経済学の基礎から応用を、段階的・系統的に学修します。並行して、「データサイエンスプログラム」や「フィールドワーク科目」のほか、「特別講義」、「上級英語プログラム」など特色あるプログラムを用意しており、多様な視点を身に付けられます。また、2年次秋学期から始まる多彩な演習(ゼミナール)に所属し、興味のある研究を進めることで、経済学を実践し人間力を養います。これら経済学部の学修で、客観的・現実的・グローバル的・実践的・倫理的な視点などを兼ね備えた総合的な経済人へ成長できます。

現代経済コース

ビジネス経済コース

地域経済コース

グローバル経済コース

MAP of Keywords

Pick Up

ゲーム理論

社会の中で相互依存する人々や組織の合理的な意思決定の仕方を身近なゲームになぞらえて解明する学問です。

行動経済学

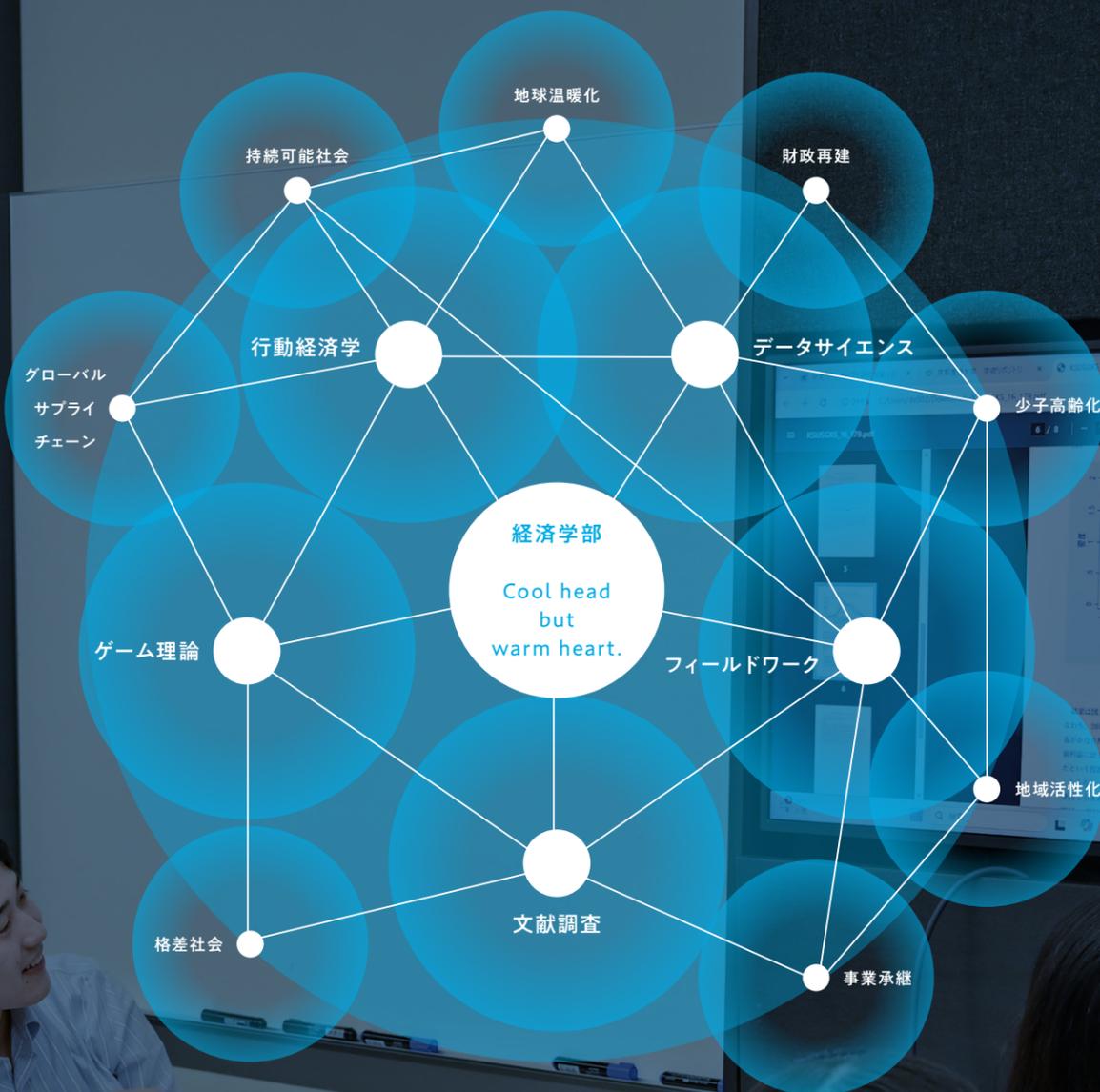
経済活動をする人間はなぜ合理的な意思決定ではなく非合理的な意思決定をするのか?この謎を解明する学問です。

地域活性化

地域に在るものを生かすことで、経済活動にさらなる賑わいをうみ、その地域住民の生活の質を高める活動です。

事業承継

理念・意義や社会とのつながりなどを含む個人や組織の経済活動を持続可能な形で次世代に引き継ぐことです。



多彩なキーワードが示す、経済学部の学びの地図をご覧ください。多様な知識をむすび、新たな価値をうみだす学びは、あなたの可能性を広げ、未来への扉を開きます。さあ、ここから探究の旅に出かけましょう。



詳細はWebへ

FEATURES

経済学部の特長

経済学で十人十色の未来を築く

Feature-1

世界が教科書！ 経済のリアルを歩き、 仲間と答えを導く

「国内系フィールドワーク科目」では各地でインタビュー調査を実施し、地域課題と原因を発見の上、経済理論とデータサイエンスなどを活用した解決策を考えます。「海外系フィールドワーク科目」では海外の大学で英語による研究発表を行い、現地の経済や文化を学びます。これらの経験を通じて「未来をデザインする経済学」を体得し、社会課題を解決する実践力を養います。

国内系フィールドワーク科目



兵庫県たつの市や京都市を舞台に、少子高齢化やオーバーツーリズムなど、各地域が抱える社会課題に対して、有効かつ実現可能な政策提言を行います。

- 社会デザインフィールドワーク
- 地域活性化フィールドワーク I
- 観光まちづくりフィールドワーク

海外系フィールドワーク科目



中国上海市の華東師範大学と連携し、AIと関連する社会課題について、英語などを用いて共同研究を行います。ワールドワイドに眠れる力を振り起こします。

- グローバル経済フィールドワーク I

演習（ゼミナール）



30人を超える指導教員＝30種類を超える研究テーマの中から、興味のある演習に所属して、経済学の理論と実践で、社会課題の解決を目指します。

- 演習 I
- 演習 II
- 演習 III
- 演習 IV



Feature-2

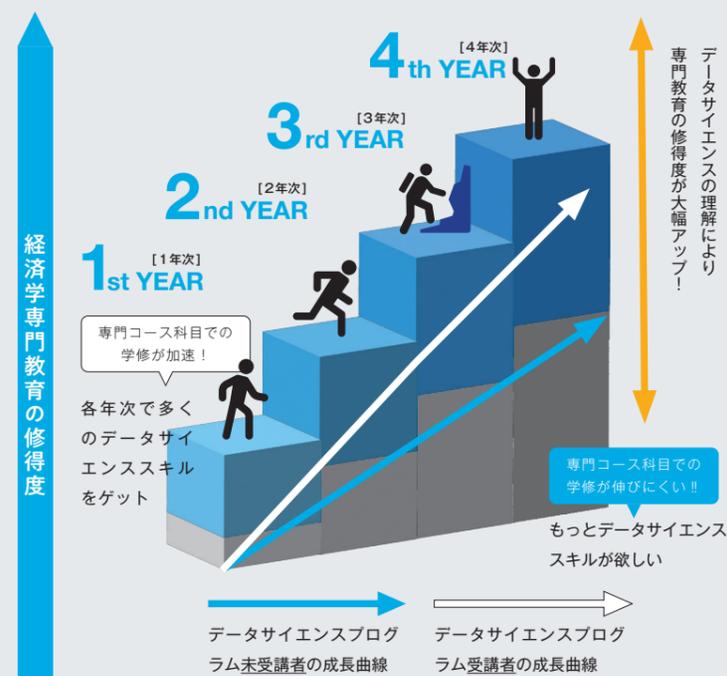
経済学×データサイエンス ＝キミの「最強」の未来戦略！

データサイエンス プログラム

テクノロジーなどの進歩により、今や多くの企業で情報通信技術（ICT）の知識や技術のほか、人工知能（AI）の汎用的活用が求められる時代になりました。経済学部では理論の検証、ビッグデータを解析して社会に役立つ知見の導出や、未来社会の客観的な予測などを基礎から学べる包括的データサイエンスプログラムを導入しています。プログラムの修得により自分自身で経済や社会を読み解き、確証をもって自分の意見を主張する能力が身に付きます。

データサイエンスプログラムの専門教育への効果

経済学を用いた多様な学びや活動ができ、将来どのような分野に進んでも役立つ！



	データサイエンスプログラムの取り組み	経済学専門教育の取り組み
4年次	データから仮説・理論の妥当性の検証や将来予測を実施し、社会に役立つ知見を導出	ゼミナールなどでフィールドワークやアンケート調査を実施し、その結果に対してデータサイエンスを生かしてゼミナール修了論文を執筆
3年次	計量経済学の講義などで応用理論・技能を修得	各専門分野の応用理論の他、ゼミナールなどでフィールドワーク・調査の具体的な手法などを修得
2年次	統計学などの講義や実習でデータ分析に関する基本理論や分析技能を修得	経済学の基本的理論や研究への取り組み方などを修得
1年次	実習などで経済学をデータで分析する初歩的な考え方・手法を修得	経済学の初歩的知識やアカデミックスキルを修得

TEACHER'S MESSAGE

統計学でデータ分析の基礎を学ぶ

統計学ではデータ処理やデータ分析の基礎的理論を学びます。データの特徴を要約する方法や少ないデータから安定した分析結果を得る方法を初歩から丁寧に学びます。経済学とあわせて統計学を学ぶことで、身近な経済ニュースがよく分かるようになり、さらに本格的な経済データ分析にもつなげることができます。



吉村 有博准教授
担当科目：統計学など

学部の学びを深めるためのスキル

データサイエンスプログラムは、経済学部の専門的な学修と連動させながら、データ分析の理論・手法について基礎から応用まで段階的に学ぶことができる構成になっています。このプログラムで身に付けたスキルは、皆さんが経済学の学びを深める上で重要な役割を果たすとともに、卒業後にどのような分野に進んでも役に立つでしょう。



栗田 高光教授
担当科目：計量経済学、国際金融論など

Feature-3

未来を描く
4コース！体系的に
経済を究める

現代社会を読み解く「現代経済コース」、企業経営を捉える「ビジネス経済コース」、地域の可能性を探る「地域経済コース」、世界を深く理解する「グローバル経済コース」があります。演習(ゼミナール)やフィールドワークと連携して専門科目を履修し、現実経済への理解を広げます。

<p>現代経済コース</p> <p>少子高齢化、社会保障、地球温暖化など現代社会が抱える諸問題の原因を考察し、経済学の視点から、その解決策を考えます。</p> <p>紹介動画</p> <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会保障などの社会全体の問題に関心がある人 ● 国家公務員や教員を目指す人 	<p>ビジネス経済コース</p> <p>経済環境の変化が産業に与える影響をビジネスの視点で分析します。そして企業活動や経済政策の事例から日本の未来を考察します。</p> <p>紹介動画</p> <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 金融業界をはじめ企業の経済活動に関心がある人 ● ビジネスモデル創出や、最前線で活躍したい人
<p>地域経済コース</p> <p>地域社会が直面する課題の解決方法を考察します。そして自治体・企業・住民それぞれから見た豊かな地域経済の在り方を探ります。</p> <p>紹介動画</p> <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済や地方財政の問題に関心がある人 ● 地方公務員を目指す人 	<p>グローバル経済コース</p> <p>貿易や金融など国際取引に関する問題をグローバルな視点で分析します。そしてその解決策や「世界中の日本経済」の動向を考えます。</p> <p>紹介動画</p> <p>こんな人におすすめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外でのものづくりや、貿易に関心がある人 ● 国際協力事業や、グローバル企業で活躍したい人

Feature-4

社会のリアルが
教室へ！リーダー
から学ぶ今

第一線で活躍する実務家から現場の「生の声」を聴く特別講義を開講しています。企業のトップや社会デザインのリーダーによる経営や地域課題へのアプローチ、複雑な社会課題を人々の協力により解決へ導く仕組みづくりを学ぶことで、将来や進路に役立つ貴重な情報を得ることができます。



経済人特別講義



企業は、どのように経済を捉え、活動しているのか。経営トップは、何を考えて、どのように企業を動かしているのか。こうした企業活動の根幹を体感！

ライフデザイン特別講義



将来の人生設計に必要な知識や考え方、ライフイベントを乗り越えた実体験、多様性の時代に適応するための新たな価値観などについて学修！

社会デザイン特別講義



社会・地域が抱える複雑な課題にどのように取り組み、解決へ導く仕組みをつくりあげたのか、そして社会デザインの現場から見た日本社会を講義！

Pick Up

経済学部のフィールドワーク科目がリニューアル！

体験 × 理論 × 実践

経済学部が重視する社会課題解決「実践」のためのフィールドワークを、問題意識、調査・分析手法、課題発見・政策提起の初歩から発展にかけて段階的に学ぶことができるように科目群をリニューアルしました。各フェーズを一步一步進むことで経験と知識が蓄積し、実践的経済人として大きな成長が期待されます。

フィールドワーク科目を体験から実践することによる成長イメージ



フィールドワーク科目 履修例	●社会デザイン特別講義 ●社会デザインフィールドワーク	●経済フィールドワーク入門	●地域活性化フィールドワークⅠ ●観光まちづくりフィールドワーク (英語学習とあわせてグローバル経済フィールドワークⅠも視野に！)
専門教育科目 履修例	●経済学入門Ⅰ・Ⅱ ●入門セミナー ●データ処理セミナー など	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 【データサイエンスプログラム】 ●データ分析セミナー ●統計学 など	●演習Ⅰ～Ⅳ(ゼミナール): フィールドワークを実践するゼミナール など

体験フェーズ
フィールドワーク実践への足掛かり

理論フェーズ
有益な知識・スキルを体系的に修得

実践フェーズ
国内外の地域課題などへの本格的な取り組み



菅原 宏太 教授
担当科目：社会デザインフィールドワーク、地方財政論



広田 茂 教授
担当科目：経済フィールドワーク入門、地域経済学

「理論」と「現実」を橋渡しする基礎を学び、
社会での提案力にもむすびつける

社会デザインとは、現代社会が抱える課題を解決し、持続可能な社会構築を目指す取り組みです。経済学部では、まず「社会デザイン特別講義」でゲスト講師のお話から社会デザインの基礎知識を学びます。次に「社会デザインフィールドワーク」での実践活動を通じて、課題解決型ビジネスのアプローチ方法を体験します。協働や試行錯誤の中で、主体性や課題解決能力、チームワークなども身に付けます。1・2年次生限定の科目だからこそ、自身の志向や将来の専門分野を模索する良い機会となります。

新規科目「経済フィールドワーク入門」は、教室で学んだ理論を地域経済や社会とむすびつけ、現場で調査を行い、経済課題を実践的に理解・解決するための基礎力を養います。文献調査、インタビュー、アンケートなどの調査スキルや政策提言の考え方を学び、チームでの協働やコミュニケーション能力も身に付けていきます。この科目の受講で、他のフィールドワーク科目や演習において、課題の分析や政策提言への大きな貢献が可能になるほか、社会に出てからの実務にも役立ちます。

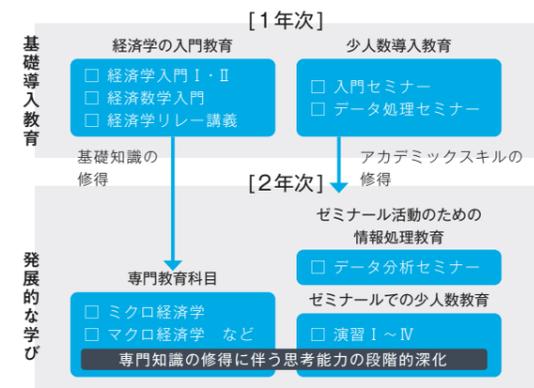
4-YEAR STUDIES

4年間の流れ 1年次は基礎導入教育、2年次からは専門コース+ゼミナール

1st YEAR [1年次]

経済学の基礎知識と
それを学ぶための技法を手に入れる

経済学の基礎理論であるミクロ・マクロ経済学や経済数学を学修します。少人数教育でレポート作成やデータ分析手法を身に付け、2年次以降の「発展的な学び」への対応力を修得します。



主な履修科目

- 経済学入門Ⅰ・Ⅱ
- 経済学入門
- 経済学リレー講義 など

1年次から学修できるプログラム

- データサイエンスプログラム** ●データ処理セミナー
 データ分析セミナー

2nd YEAR [2年次]

コースの学びをスタートさせ
秋学期からゼミナールに所属する

各自の興味や進路に合わせて選択した「現代経済」「ビジネス経済」「地域経済」「グローバル経済」の各コースに沿った学びをスタートします。ゼミナールへの申請も始めます。



現代経済コース	●環境経済学	●リスクマネジメント Pick up	●労働経済学 など
ビジネス経済コース	●企業経済論	●ビジネスエコノミクス Pick up	●ファイナンス論 など
地域経済コース	●産業立地と地域経済 Pick up	●地域経済学	●地方財政論 など
グローバル経済コース	●エネルギー資源論 Pick up	●開発経済学	●国際経済学 など

連携(コースに関係なく、全てのゼミナールから選択可能)

ゼミナール(演習Ⅰ～Ⅳ)

- 統計学
- 情報経済論(応用データ分析)
- 計量経済学
- ビジネスデータ分析 など

経済学部におけるグローバル人材の育成

円滑な意思疎通に必要な英語力とコミュニケーション能力を身に付け、グローバル化する経済社会へ積極的に進出しようとする意識とチャレンジ精神を持ち、多様な文化的背景を持つ人々と協調して地道に課題解決する経済人を育成します。このため、上級英語プログラムと海外系フィールドワーク科目のほか、特別留学プログラムなどを用意しています。



3rd YEAR [3年次]

研究手法や知識を生かし
専門の学びに注力する

コースの専門分野を本格的に学びます。ゼミナールでは研究領域の中から興味あるテーマを掘り下げて研究し、実践的な分析力・思考力を養います。他コースの科目への学びも広がります。

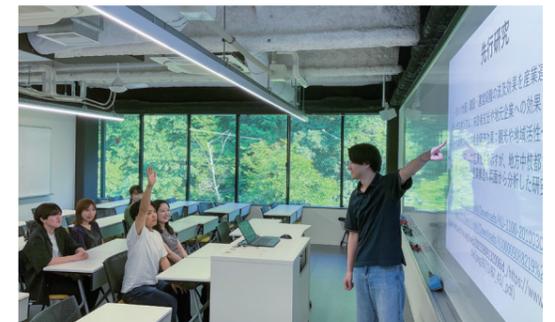


- 特別プログラム**
- 上級英語プログラムⅠ～Ⅳ
 - 海外系フィールドワーク科目
 - 特別留学プログラム
 - 国内系フィールドワーク科目
 - 特別講義シリーズ
 - 現代証券市場論 など

4th YEAR [4年次]

学びの集大成として
ゼミナール修了論文をまとめる

ゼミナールや専門分野での学びを踏まえ、自分が決めたテーマを調査・分析の上、修了論文を作成します。4年間で培った思考力や各種能力を体系化し、社会的使命を果たす力を修得します。



ゼミナール修了論文テーマ

- 観光地における負の外部性の研究
—観光客の行動を変える政策の提言—
- 観光都市における変動運賃制度の導入について
- 伝統工芸産業活性化に関する研究
- 日本各地の観光地におけるゴミ処理費用の負担について
- 農業の後継者不足に関する研究
- プラごみ排出量削減にむけた取り組み など

専門性を深めるための4つのコースからのPick up授業

各コースでは本学経済学部ならではの特色ある

[現代経済コース] リスクマネジメント

企業などの組織に必要な、活動に関わる不確実性(リスク)の管理(マネジメント)に用いる損失最小化の理論や手法を、意思決定、インセンティブ、価値評価、保険などの題材を主軸に学びます。

- 組織マネジメントに興味がある リスクコンサルタントに興味がある

[ビジネス経済コース] ビジネスエコノミクス

価格競争、参入・結託、また、垂直取引やオンライン直販と実店舗の競争など、ビジネス現場での諸現象を経済学のモデルで分析し、戦略的相互関係に基づく意思決定と市場構造の影響を学びます。

- 企業のかけひきに興味がある 競争のシナリオに興味がある

[地域経済コース] 産業立地と地域経済

各企業がどのように立地を決めるのかという立地論の基礎理論と地域格差など地域経済が抱える課題について学びます。また、地域活性化の成功例についてのケーススタディも取り込んでいます。

- 地理に興味がある 地域活性化に興味がある

[グローバル経済コース] エネルギー資源論

エネルギー資源の種類、エネルギー需給構造、電力構成、エネルギー政策、エネルギー安全保障などの実態を経済理論と最新データを用いて体系的に理解し、現実の課題に応用するチカラを養います。

- エネルギー政策と経済構造に興味がある 資源の需給とエネルギー安全保障に興味がある

授業を展開! また、授業の履修者数が多く人気授業です。これら授業の受講で他大学生を一步リード!

コースの詳細はこちら





詳細はWebへ



Topic :

労働市場に関する実証研究

Outline :

「働くこと」に関するさまざまな現象を、経済学の視点から分析する労働経済学のゼミナールです。具体的には、賃金や雇用量がどのように決まるのか、学校教育、結婚・出産・育児といったライフイベントが労働にどう影響を与えるのかなどについて考えます。学生は幅広い領域からテーマを見つけ、現在は3年次生のグループによる、地域間の男女賃金格差の要因、AIの普及による労働機会の損失、プロ野球選手の年俵を決める要因に関する研究が進行中です。ゼミナールは教員に教えてもらう場ではなく、学生が互いに教え合い、学び合う場と考えており、教員役として毎回発表を担当する人を割り当てているのが特長です。発表したり、教えたりするには、しっかり学ばなければならず、より深い理解につながっています。他大学の労働経済学ゼミナールとのグループワークも行い、研究の成果発表会も実施予定です。



東雄大 准教授
経済学科
専門分野：労働経済学、都市経済学

Profile :

大学時代を神戸で過ごし、震災ボランティアと国際協力の活動に取り組む。現場に足を運んで初めて見聞きすることに驚きつつも、当事者の声を聞き、多くの人と交流し、考えたことが研究の糧になっている。



Topic :

地域における観光の重要性

Outline :

地域の経済活性化の一翼を担う「観光事業」にスポットを当てたゼミナールです。歴史・食・自然などの観光資源を対象に、観光経済学や地域経済学の観点から課題を分析し、観光事業を発展させるアイデアを学生自身で考えていきます。授業はフィールドワーク中心で、自治体や企業と連携したプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。例えば、京都市役所、バス会社、マップ提供事業者と協働し「京都市北部山間地域におけるバス利用者を増やすにはどうすれば良いか」という課題に挑戦しました。学生たちは実際にバスで巡り、地元住民への取材を行いながら、路線バスでアクセスできる観光スポットを調査。最終的に、学生が選定したスポットを掲載した独自の「バス旅MAP」を作成し、大きな反響を得ることができました。こうした実践的な学びを通して、学生は問題発見力や提案力、実行力などを高めることができます。



功刀 祐之 准教授
経済学科
専門分野：観光経済学、地域経済学

Profile :

群馬県出身。地域の活性化に貢献する産業、特に「観光」に着目し、多彩なデータを用いて研究を進めている。趣味は観光名所探索と音楽鑑賞。最近はベース・ギターを購入し、バンド活動も新たな趣味となっている。

2年次秋学期からはじまるゼミナール活動で、貴重な経験を積む

SEMINAR

ゼミナール紹介

Topic :

**日本経済の観察・分析を通して
5つの力を修得**

Outline :

2年次と3年次春学期に、基礎的な経済理論を用いて日本経済の多彩なトピックスを読み解きます。さらに、学修内容と関連する新聞記事の要約や過去の経済状況について家族・知人へのインタビューも実施します。3年次秋学期からは、各自の研究したいテーマに関する論文を執筆します。自らが立てた仮説に対してデータをもとに検証し、結果に基づく政策を提言します。4年次には希望者について「京都から発信する政策研究交流大会」や「WEST論文研究発表会」などへの参加準備をし、学期末に全員でゼミナール修了論文報告会も行います。こうした実践経験を経て、「経済理論」「新聞を読む習慣」「データ収集・分析能力」「学術論文の読み書き能力」「プレゼンテーション能力」を身に付けていきます。



関田 静香 教授
経済学科
専門分野：応用計量経済学

Profile :

鹿児島県奄美大島出身。実証研究への興味が芽生えたため、地元の銀行員を退職し、大学院で博士号を取得。さまざまな場所での研究を経て、2011年から現職。休日は子どもとの遊びが中心。最近は釣り堀での釣果を競っている。

Topic :

**アジア諸国の経済発展における
持続可能な開発**

Outline :

フィリピンやタイなど東南アジアを中心に、アジア経済発展の理論と事例の研究に取り組んでいます。アジア開発銀行のデータベースを活用した資料読解やグループディスカッションなどを通じて各自が課題を発見し、現地での専門家のレクチャーも受けながら、主体的に調査・分析を行って考察を深めていきます。研究テーマは、SDGsに掲げられている環境や健康、災害に強い街づくりなど多岐にわたり、国内調査を通して日本との比較研究を行う学生も少なくありません。他大学との交流やプレゼンテーション、留学生との交流、英語による討論などの機会も多く、多様な視点を学び、論理的思考力と表現力を高めるとともに、実践的な経験を通じて、社会で活躍できる力を養います。



イケダ マリア 准教授
経済学科
専門分野：東南アジアの経済発展、災害復興と地域、移民・社会イノベーション

Profile :

フィリピン大学経済学部卒業。同大学経済学部勤務を経て、日本に留学し、京都大学大学院経済学研究科博士課程で現代経済学専攻博士号を取得。読書、旅行、山登り、天体観測、映画など多彩な趣味を楽しんでいる。

SEMINAR & FACULTY



ゼミナール&教員DATA 2026年3月現在

現代経済

公共と厚生の経済学

飯田 善郎 教授
専門分野：公共経済学、実験経済学など

日本経済と第4次産業革命

塩津 ゆりか 教授
専門分野：日本経済論、財政学、社会保障論など

日本経済の観察と分析

関田 静香 教授
専門分野：応用計量経済学など

環境問題を経済学の視点から分析する

武田 史郎 教授
専門分野：環境経済学、応用一般均衡分析など

「貧困」の発見

玉木 俊明 教授
専門分野：ヨーロッパ経済史など

マクロ経済データの分析・調査

寺井 晃 教授
専門分野：マクロ経済学など

労働市場のデータ分析

東 雄大 准教授
専門分野：労働経済学、都市経済学など

超高齢社会の社会保障

福井 唯嗣 教授
専門分野：公共経済学、社会保障論など

社会の経済問題と政策について考える

松尾 美紀 准教授
専門分野：マクロ経済学、公共経済学など

経済政策を身近な問題で考えてみよう

八塩 裕之 教授
専門分野：財政学、租税論など

ビジネス経済

統計学と経済実験

小田 秀典 教授
専門分野：経済学など

企業行動の経済分析

加茂 知幸 教授
専門分野：理論経済学、数理経済学、一般均衡理論、ゲーム理論など

ビジネス・エコノミクス

北村 藍 教授
専門分野：応用ミクロ経済学、産業組織論など

コーポレート・ファイナンス

崔 ワイカン 准教授
専門分野：コーポレート・ファイナンスなど

日本経済と金融

坂井 功治 教授
専門分野：金融論など

組織マネジメントと

ゲーム理論・情報の経済学

千葉 早織 教授
専門分野：ミクロ経済理論、ゲーム理論、情報の経済学など

日本の金融・資本市場

西村 佳子 教授
専門分野：金融論など

消費者行動と企業戦略

潘 聡 准教授
専門分野：産業組織論、経営の経済分析など

チームで学ぶ

経済データサイエンス

吉村 有博 准教授
専門分野：計量経済学など

地域経済

地域活性化と企業・行政

大西 辰彦 教授
専門分野：中小企業論、京都産業論など

地域における観光の重要性

功刀 祐之 准教授
専門分野：観光経済学、地域経済学など

まちづくりや地域活性化を経済学で考える

倉本 宜史 教授
専門分野：地方財政論、公共政策、財政学、交通経済学、公共経済学など

地方自治体の財政問題についての研究

菅原 宏太 教授
専門分野：財政学、地方財政学、公共経済学など

都市と地域の経済分析

寺崎 友芳 教授
専門分野：都市経済学、地域経済学など

データで経済や地域を分析する

広田 茂 教授
専門分野：地域経済学、日本経済論、経済統計など

地域の社会経済史

山内 太 教授
専門分野：日本経済史、日本村落史など

社会関係資本と社会の豊かさを考える

要藤 正任 教授
専門分野：社会関係資本論、マイクロデータをを用いた実証分析など

[2026年4月開講予定]

食と農の経済学(仮)

森 佳子 教授
専門分野：農業経済学、フードシステム論など

グローバル経済

国際金融とマクロ経済学

池田 晃彦 准教授
専門分野：マクロ経済学、国際金融論など

アジア諸国の経済発展と持続可能な開発

イケダ マリア 准教授
専門分野：東南アジアの経済発展、災害復興と地域、移民・社会イノベーションなど

グローバリゼーションがもたらす経済・社会問題

大川 良文 教授
専門分野：国際経済学など

アジアの成長と経済協力

大坂 仁 教授
専門分野：開発経済学など

貿易政策の経済学的分析

川越 吉孝 准教授
専門分野：国際貿易政策など

経済・金融データから読み解く現代社会

栗田 高光 教授
専門分野：計量経済学など

比較社会経済史

齊藤 健太郎 教授
専門分野：比較経済史(イギリスと日本)、労働経済論など

Excelによる現実経済分析

岑 智偉 教授
専門分野：マクロ経済学、中国経済論など

エネルギー経済と持続可能な発展

藤井 秀昭 教授
専門分野：エネルギー経済学、環境経済学など



GRADUATE'S INTERVIEW

卒業生紹介

INTERVIEW

卒業生

株式会社紀陽銀行 勤務

中村 圭佑 さん

経済学科 2022年卒業

Q. Uターン就職で銀行を選んだ理由を教えてください

生まれ育った和歌山の経済を支えたいと考えたからです。地域活性化を学ぶフィールドワークで実際の現場を訪れ、企業や行政が果たす役割の大きさを肌で感じました。この経験から、地域経済の根幹を担う企業を金融面からサポートし、和歌山の発展に貢献できる銀行員の道を選びました。

Q. セミナールでの学びは、現在の仕事にどのように生かされていますか？

「チームで課題を解決する力」は、現在の仕事に直結しています。ゼミナールでは、多様な意見を持つ仲間と議論し、協力して答えを導き出しました。銀行業務も1人では完結しません。お客様の課題に対して融資部などの専門部署と連携し、チームで最適な提案を行うことを心がけています。

学生時代の思い出



ゼミナール活動を通じて、学生時代から社会人の先輩方と交流しました。働く姿勢や多様な考え方に触れた経験は大きな財産です。縦のつながりを大切にする校風が、私の成長を支えてくれました。

個性豊かな仲間と
磨いた「協働力」
チームの力で
地元の経済を支えたい



CAREERS

キャリア
サポート

文部科学省に最優秀賞と認められたキャリア実習をはじめ、入学直後から卒業まで多彩なキャリア形成支援プログラムを展開。低年次から自分のキャリアを描く機会を設け、社会で生き抜く力を育てます。就職活動では、約40人の専任スタッフが年間約12,000回の個別面談を実施するなど、きめ細かにサポート。こうして培われる資質や能力は、卒業生が就職した企業や社会からも高く評価されています。

就職率(経済学部)

97.4%

2024年度実績

資格

資格受験専門学校による講義を、特別価格で受講できます。講師は実績のある専門学校の受験対策スペシャリスト。資格サポート室とタッグを組み、資格・講座選びから合格まで徹底的にサポートします。

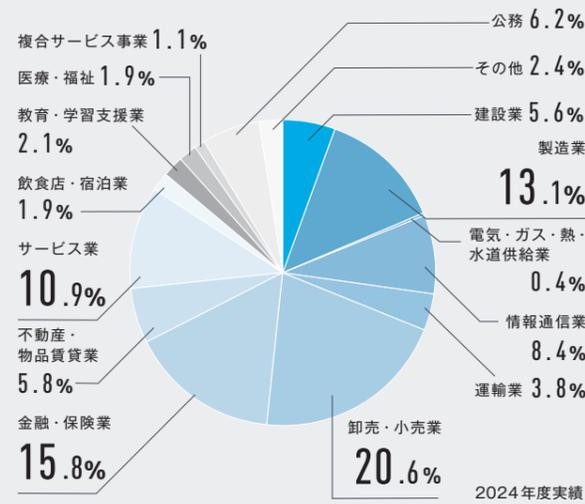
取得可能な教員免許状

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史/公民/商業)

取得を推奨している資格

- TOEIC®
- 日商簿記検定
- マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS: ExcelやWordなどのマイクロソフトオフィス製品の利用スキルを証明する資格)
- ファイナンシャル・プランナー
- 証券アナリスト
- 税理士
- 公認会計士
- 宅地建物取引士

就職先 業種割合



※就職先業種割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%と異なる場合があります。

就職先一例(50音順)

- | | | | | |
|-----------|-----------|-------------|---------------|--------------|
| いすゞ自動車 | JR東海 | 日本郵便 | 山崎製パン | 国家公務員(国土交通省) |
| 大塚商会 | JR西日本 | ファーストリテイリング | 読売新聞大阪本社 | 京都府警察本部 |
| 九州電力 | 大和ハウス工業 | 富士ソフト | LIXIL | 近江八幡市役所 |
| 京都銀行 | タカスタンダード | 堀場製作所 | りそな銀行 | 岡山市役所 |
| 京都中央信用金庫 | トヨタ自動車 | みずほ証券 | 良品計画 | 亀岡市役所 |
| 近畿日本ツーリスト | トランスコスモス | 三井住友銀行 | 中学校社会科教員(香川県) | 滋賀県庁 |
| 神戸製鋼所 | 日本電気(NEC) | 明治安田生命保険 | 国税専門官 | 兵庫県庁 |

学部トピックス

公務員を志望する学生をサポートし、受験を乗り切る仲間づくりの場となる「公務員試験研究会」

経済学部には各種公務員を目指す学生を支援する「公務員試験研究会」があります。「公務員になりたい」と考える経済学部の学生ならば学年問わず誰でも入会できます。もちろん1年生や3年次編入生も入会可能です。教員による手厚いサポート、専用自習室など公務員試験の勉強を効率的・効果的に行える環境が整備されています。



倉本 宜史 教授

担当科目: 地域活性化フィールドワーク1、地域政策、交通経済学など

個別指導と実践的支援で公務員試験合格へ
公務員志望の学生に対して個別相談を中心とした包括的な支援体制を整えています。筆記試験、面接対策など、元国家公務員や国際経済学専門の教員が進路に即した指導を行います。卒業生交流会や官公庁見学も実施し、最新の公務員情報を提供しています。



岡本 唱汰

経済学科 4年次 徳島県立池田高等学校出身 四国地方整備局(国家公務員)

同じ道を志す仲間と励まし合い、夢の実現へ

地元の土砂災害を機に被災者を支援する公務員を志望。自由に使える自習室で集中して勉強し、経済学や面接対策でも先生に丁寧に指導いただきました。企業志望者が続々と内定を獲得して焦るなか、仲間と励まし合って合格を勝ち取りました。

内定者

住友林業株式会社 内定

河内 祐瑞暉

経済学科 4年次(岡山県・美作高等学校出身)

Q. 内定につながった大学のサポートや学びは?

進路・就職支援センターでエントリーシートの書き方を丁寧に教わりました。ゼミナールの先生が就職活動の進め方について熱心に助言をくださったのも力になりました。また、ワンキャンパスで多彩な学部の友人と接する中で高まった社交性や、学部で培ったデータ活用能力も内定につながったと感じます。

Q. 大学での学びや修得したスキルを、就職先でどのように生かしたいですか?

ゼミナールでは、戦略的な駆け引きの科学である「ゲーム理論」を学びました。その学修を通して、個人や組織が最適な意思決定を行うための思考法と、論理的な分析力を修得できました。このスキルを活用し、お客様と会社の双方に貢献できる課題解決型の営業担当者になりたいです。

学生時代の思い出



ゼミナールでは、国際規格に基づいた性格検査(MBTI)を企業活動に応用するための研究に取り組みました。就職面接でも研究内容について高く評価いただき、内定につながったと感じています。

大学生活で高まった
社交性とゲーム理論の
学修で磨いた論理的な分析力

内定者

京都中央信用金庫 内定

今岡 由葵恵

経済学科 4年次(島根県立松江高等学校出身)

Q. 特に役に立った就職活動のサポートは?

進路・就職支援センターに銀行の人事部に勤務した経験を持つ方がおられ、エントリーシートの書き方をはじめ、幅広く的確なアドバイスをいただきました。銀行の面接でよく聞かれる質問への対応などについても教えてくださり、1対1での模擬面接まで実施していただき本当に助かりました。

Q. 大学での学びや経験が、卒業後のキャリアにどのように役立つと思いますか?

専門の金融に関する学びに加え、経済学について幅広く学べ、経済新聞などを通して経済情勢についてより深く理解できるようになりました。株の動きや投資についても学ぶことができ、金融のさまざまな知識を生かして、多くの人を支えられる存在を目指したいと考えています。

学生時代の思い出



ゼミナールで「日銀グランプリ」に参加し、私が所属した班では環境・社会・ガバナンスを考えるESG投資について、日本と世界の現状を調べました。半年以上の時間をかけて準備し、改善案も提案しました。

金融や経済について
より幅広く深い知識が得られた